２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

総務・情報委員会
運営方針（案）

総務・情報委員会
委員長　　吉野　純一

□ 方針 □

総務・情報委員会では道南１６ＬＯＭとブロック協議会との連携を図る中で「共生のこころ」を抱き、情熱をもって委員会事業を行なってまいります。

情報技術の発展に伴い情報面・技術面もより複雑になり、送る側・受け取る側の間に溝が生じているのが現実ではないでしょうか。求められる情報をより的確に正しく伝え、情報を有効に活用していただけるよう、決して一方通行にならぬよう情報の還流を促してまいります。

又、３９年の長き歴史を知らずして未来は語れず。道南ブロック協議会の誇り高き歴史と伝統、今日までに行なわれた素晴らしい事業を検証するとともに、これからのＪＣ運動、新たなる道南ブロックのたくましい挑戦と題し、「道南ブロックの軌跡」を作成いたします。

日本ＪＣ・地区協議会との連携を図る中で広報誌やホームページ等の活用をブロック内はもとより、世界に向け発信し、ＬＯＭ事業等の紹介や、日本・地区・ブロックの情報を還流させ、道南１６ＬＯＭの活性化とともに高い志と熱き情熱をもって、たくましい道南ブロック協議会を創り出すよう、行動してまいります。

□ 事業計画 □

１．ＬＯＭとブロック・地区・日本との双方向の極め細かい情報の収集と発信
２．諸会議の設営・運営に関する事務局の支援
３．歴代の事業及び運営記録の作成
４．道南ブロック事業報告書の作成
５．その他

２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

道南ネットワーク委員会
運営方針（案）

道南ネットワーク委員会
委員長　　嶋崎　修一

□ 方針 □

～「こころ」と「こころ」のふれあい、愛するこの地域（まち）のために～

私たちの愛するこの地域（まち）の未来は、この地域の未来を考え、そして情熱と志を持った、私たち青年に託されております。各地域において、道南１６ＬＯＭそれぞれが知識や経験を積み、この愛すべき地域の未来を築き上げるために汗を流し、情熱を持って、各地域の特性を活かしたオンリーワンのまちづくり運動を展開してまいりました。

本年度、道南ネットワーク委員会では、それぞれの地域で行なわれている「オンリーワンのまちづくり運動」の調査と検証を行ない、愛する地域の素晴らしい未来を創り上げる為に、更に強固なネットワークを築き上げ、道南ブロック協議会を有効に活用していただく中で、形だけではなく、道南ブロックとＬＯＭとＬＯＭとの連携をこれまで以上に密接に行ない、たくましい道南の大地を目指し、豊かな夢のあふれる未来創造へ向かって、互いに語り合い感動し、行動を共にできる環境づくりを行ってまいります。

また、会員相互の交流を通し「こころ」と「こころ」のふれあいを実践し、感動を共有できる道南ブロック協議会を目指します。道南ブロックスポーツ大会をはじめとする各種セミナーの支援を通し、道南ブロック１６ＬＯＭが更に強い絆で結ばれる事を確信し、委員会メンバーと共に、たくましい道南の大地を築き上げてまいります。

□ 事業計画 □

１．第 32 回道南ブロックスポーツ大会＜小樽・余市大会＞の支援
２．各種セミナー・ブロック事業の支援
３．「オンリーワンのまちづくり運動」の検証と発信
４．その他

２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

大地の教育づくり実践委員会
運営方針（案）

大地の教育づくり実践委員
委員長　　工藤　裕介

□ 方針 □

近年、教育改革の動きは新たな展開をみせようとしています。教育基本法の見直しや、「共同生活における奉仕活動」を行う事はその典型であり、その背後には道徳性・社会性の低下に対する危機意識があると考えます。

また、２００２年４月から完全学校５日制などを含めた「総合的な学習時間」が導入されたことにより地域を交えた総合教育がますます重要になってきたと考えます。

本年度、大地の教育づくり実践委員会では道南の大地に暮らす責任と自覚をしっかりと認識し、未来を担う子ども達と共に新しい時代を創り上げていく為に、自らが夢（目的）に向かって行動することの大切さ、他人を思いやる心、郷土を愛し貢献する心をもって、道南１６ＬＯＭとＹＤ系・育成系の委員会やアカデミー塾生を交え事業を展開し、道南の大地の中で子ども達と共に多くの仲間と出逢い、地球市民意識の中で感動を共有出来る青少年育成事業を実践してまいります。そして、「チーム：大地の道南」として行った青少年事業の検証を北海道地区協議会や日本ＪＣとの連携の中で発信してまいります。

道南１６ＬＯＭとのネットワークを最大限に活かし、「真の地域社会教育」を進めるために共に汗を流し、感動を共有し、たくましい道南の大地を創り上げてまいります。

□ 事業計画 □

１．「たくましいひとづくり」をテーマに出逢いと感動を目的とした青少年育成事業
２．道南ブロック青少年育成プログラムの編纂と発信
３．地区協議会・日本ＪＣとの連携による青少年育成事業の検証と発信
４．その他

２００３年度
（社）日本青年会議所　北海道地区　道南ブロック協議会

「ＬＯＭ支援センター」研修委員会
運営方針（案）

「ＬＯＭ支援センター」研修委員会
委員長　　高橋　誠

□ 方針 □

青年会議所創設以来、50 年もの長い歴史の中で、今もなお全国各地においてＪＣ運動が力強く展開されております。『志の集団』として成長してきたＪＣは、近年、新しい価値観の中で大きく進化を迫られております。私達 Jaycee は、これからも創始の頃から受け継がれている『高い志』を持って、さまざまな運動を展開し、継承すると共に、明るい豊な未来を創り上げていかなければなりません。

明確なビジョンを掲げ、地域の特色を活かした運動を展開することにより、ＪＣだからこそ出来る経験や出会いを通じて大きな感動を体現できるのです。

本年度、「ＬＯＭ支援センター」研修委員会では、貢献する心と人間力溢れるたくましい Jaycee を育成するため、道南１６ＬＯＭと日本ＪＣ、地区協議会の有機的なリンクを図り、それぞれのＬＯＭの活性化と地域の発展の為に能動的に活動してまいります。

今、ＬＯＭが求めている有意義な質の高い情報を収集し、日本ＪＣが持つノウハウを地域に沿った形で整理・再編し、提供してまいります。又、新しい時代の価値観の中でこれまでの運動の蓄積や有用な実践手法、ツールやメンバー向け研修などＬＯＭにとって有益な活用方法をお伝えしてまいります。

ブロック協議会だからこそ出来るスケールメリットで道南 16ＬＯＭと共にたのもしい道南の大地を創りあげてまいります。

□ 事業計画 □

１．「ＬＯＭ支援センター」設立に関する事業
２．日本ＪＣの運動に関する情報発信
３．その他